
つれづれ(1)

土堀 友

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

つれづれ(1)

【Nコード】

N7621L

【作者名】

土堀 友

【あらすじ】

私は漱石になりきって、気分がよろしい。

アンチヨコな人生を、ここにも持ち込んでしまった。

つれづれ(1)

我が輩は、突然小説を書きたくなつた。

そこで、小説とはいかなるものかと思い、本屋に行つて二、三冊買つてきた。

驚いた事に、我が輩は文学とは全く無縁の人生を歩んできたことに気付いた。

今まで読んできた書物といえはそのほとんどがハウツー物で、答えが出ればそれで良い。

道程部分までも考える事はあまり無かつた。

それは、生きていく上での処世術のようなもので、「間違いなく、かつ迅速に仕事を片付けなければならない」という必要性によるものであつた。

かくして、我が輩の人生は お好み焼き のような薄っぺらなものとなつた。

これでお分かりの事と思うが、我が輩は小説を書くということに關しては「全く無知な人間」であつた。今でもそうである。

そこで、まずは「真似ろ」と言う訳で創作に取り掛かつてみたが、わが親友である六文氏 我が輩が勝手にその様に思い込んでいただけであるが は、いみじくも我が輩の第一作を「吾輩は猫である」に似ていると喝破した。

左様、我が輩は机に片肘を付き、ペンであごをつついたポーズで漱石を気取っている。

我が輩は熱しやすく冷めやすい性格で、突然、スポーツを始めなくてはと思ひ立ち、早速テニススクールに通つた。ラケットを買い、高額のスポーツウエアで身を飾り、三年ほど熱心にボールを追つたが、パタリと止めてしまった。これといつて理由も無いが、強いて

言えば「あきてしまった」ということになる。

存外、平凡な理由である事に「猫のご主人様」に良く似た性格であると、一人ニンマリとしている次第である。

さて、文体とは何か、起承転結とは何か・等々文学とは、かくも面倒なものであるうか。その一つ一つを解き明かしていくには我が人生、もはや終盤、時間が無い。

我が輩は、アンチヨコな解決策は無いものかと思案する。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7621/>

つれづれ(1)

2010年10月10日02時00分発行